

1 事業の目的

中心市街地において自動運転バスの実証運行を行い、自動運転の課題を抽出し、社会実装に向けた検証を行うとともに、市民や関係者に自動運転技術を体感していただき、自動運転への理解を深めます。

2 事業内容（自動運転バス実証運行の結果）

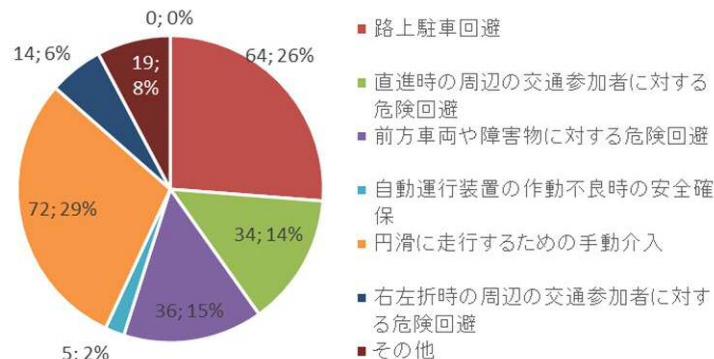
- 実証期間 令和6年11月～12月 ※試乗期間：12月13日～24日（うち10日間）
- 運行便数 58便（試乗便）
- 試乗人数 519人 ※公募枠の乗車率：約75%

3 主な実証結果

（1）技術面の検証

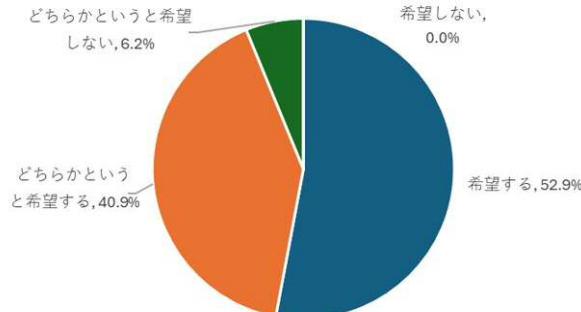
自動運転率：95.3%（前回：80.2%）

（走行距離ベースで計測）



（2）社会受容性面

将来的な自動運転サービスの利用希望について



前回と同様、9割以上の方が利用を希望と回答

4 今後の取組み方針

- ・中心市街地における自動運転率を高めるための改善を施した結果、自動運転率を向上させることができましたが、完全無人化での運行には課題が山積しています。今後は、より社会実装に近付けた環境で実証運行を行い、他自治体の事例等を参考にしつつ検証を深めます。
- ・社会実装（本格運行）時はバス事業者による営業運行となるため、持続可能な運行体制や自動運転技術の活用策等についてバス事業者と検討を深めます。

◆運行計画

- ・運行路線：下図のとおり
 - ・走行距離：ルート4.8km
 - ・所要時間：約25分
 - ・自動運転レベル：レベル2
(使用車両はレベル4相当)
- ※原則自動運転にて走行し、必要に応じて手動操作による運行を実施。

«令和5年度からの変更点»

- ・左折中心の周回ルートを走行
- ・9箇所の信号機とシステム連携
- ・途中下車できるバス停を5箇所設定
- ・路上駐車追い越し機能の追加

